

1. 科学のABC

疑問を持つことしかし、世界には不思議が溢れていると
あらためて思った。そういった不思議に対してABCを考える
ことはおもしろく、フセになる気がする。今回課題で取り組んだ
日本のABCも、やってみると日々の生活の仕組みや不思議に
ついてあらためて向き合い、考えることができてよかった。今後もせいか
でこれから大きなことまで、色々なことに興味を持ち、自分の
意見や考えを表現していきたいと思う。

大げさでなく、みなさんの人生が変わる話をしていっているつもりです！変身！

日常生活からあたり前のことを疑うと、いろいろな発想が生まれる。ABCの考え方を考えておけば

問題が科学的にできると思う。

みなさんの仮説と検証が、その人の性格まで分かるように面白かったです。

前回の課題のフィードバックで他の人達の回答が面白かった。

科学のABCのみんなの考えがほぼすべて興味深かった。

他の人の意見と比べるとそういった考えがあるのを知ることが
できていい。みんなよくできていて、おれに!!

2. 木漏れ日

まさかとはるか遠くの太陽の形がこんなにはなれても
私たちの地球にうっしたさであるのは、ああ、そう大で感動した。

日食の時に、こもりの形が変わるのにもとても驚いた。自分で実際に
確認したいと思った。次の日食はいつですか？2030年である。

「こもり」は、黒。2つの金と丸の光の影は太陽だと思おう
とわかり、太陽を身近に感じることができた。

3. 空気遠近法

レオナルド・ダ・ヴィンチはあの時代にすでに空気が青いこと
に気がついていて知っていました。現代に生きていると
空気が青いことに気がついていないで月夜に寝るんだなと感じました。

4. アナモルフォーズ

聖書の一冊最初の授業で愛胆集の絵を知りました。あ、
マリアの腕が長いことには気づきませんでした。
ダ・ヴィンチは見る角度を計算して絵を描いているのは、すごい
なと思った。天才である。

また、とても身近にあるアナモルフォーズという単語の文字が
思いつきました。アートだけでなく我々の安全にもつながっている

アナモルフォーズはトリックアートにも使われているなと思った。

また、とても身近にあるアナモルフォーズという単語の文字が
思いつきました。アートだけでなく我々の安全にもつながっている
この遠近法は、普段の生活において重要な役割を果たしている
のだと感じました。
理屈よりも先に活用してほしい。

(疑問に思ったこととAとB、C、Dを考えたのにおもしろく
それと関連があるときに分かりやすく話そうと思った。木漏

無意識に受け入れている現象に「なんで？」と気づけるように
なりたい。というコンセプトの授業で「なんで？」と思

日常で科学のABCを行って「なんで？」と思った
生活では、それをより深く理解することができ、何度も
繰り返して、より深く理解した。

1年生のみなさんもそろそろ気づい
ていると思います。大学の勉強は教
科書があれば、一人でもできます。
でも、他の人の意見は多様であり、
それを共有するのは一人ではできま
せん！

木漏れ日は、身近な素材でありながら、
意外なBとCの展開ができる好例だった
と思います。私も気づいたときには、
ハッとしました！

今回で、空気遠近法という言葉を知りました。たし
かに、遠くに見える山やビルはぼやけていたり日常で思
いあたることがありました。今日は少し遠くを見ながら帰って
みたいと思います。ぜひ！

レオナルド・ダ・ヴィンチの天才性を表す一つの例
ですね！

天才と呼ぶことを誰も否定しないレオナルド・
ダ・ヴィンチだからこそ、腕の長さは解釈が必要
だと思われるわけです。

アナモルフォーズという技法が、理屈として
わかると、応用できます。
科学が進むと、技術が発展する、と表現する
こともできます。

野球場でも、この技法が使われていることを初めて知り、自分では
目を向けていなかった部分であったため、とても興味深かった。